



インフュージョン

在庫スイートクラウド

モバイルオプション

マニュアル

改訂履歴

版数	発行日	改訂履歴
第 1.0 版	2014 年 12 月 16 日	初版
第 1.1 版	2014 年 12 月 26 日	iPhone 対応
第 1.2 版	2015 年 04 月 20 日	・入荷検品、移動 対応 ・品目名入力 対応
第 1.3 版	2015 年 06 月 23 日	・入荷返品、出荷返品 対応 ・在庫状態入力に関する説明を追記
第 1.4 版	2016 年 03 月 16 日	・対応 iOS バージョン変更 ・棚卸エディション対応 ・在庫参照 対応
第 1.5 版	2017 年 01 月 11 日	・入荷検品、出荷検品（仮引当）の数量不足での処理済み に対応
第 1.6 版	2017 年 09 月 20 日	・対応 iOS バージョン変更
第 1.7 版	2017 年 12 月 13 日	・動作環境：対応ハンディターミナル変更、対応 iOS バージョン 変更 ・PC 側設定
第 1.8 版	2018 年 11 月 20 日	・動作環境：対応ハンディターミナル変更 ・システム設定変更に伴う対応
第 1.9 版	2020 年 01 月 16 日	・動作環境：対応 iOS バージョン変更 ・システム設定変更に伴う対応
第 2.0 版	2021 年 06 月 16 日	・システム設定変更に伴う対応

はじめに

この度は、「在庫スイートクラウド」をご利用頂き、ありがとうございます。

本書は、モバイルオプションの基本的な使用方法とモバイル機器での運用について説明しています。ご使用になる場合は本書ならびに「在庫スイートクラウド棚卸/Lite/Pro」のマニュアルをご覧ください、十分に理解した上でご使用下さい。

本文中の表記について

本文中では次のような表記を使っています。

- 本サービス 在庫スイートクラウド棚卸/Lite/Pro を指します。
- 本オプション モバイルオプションを指します。
- 本アプリケーション モバイルオプションで提供されるアプリケーションを指します。
- モバイル機器 現在対応のモバイル機器は無線ハンディターミナルと iPhone です。
共通の説明では特にこのように表記します。
- HT 無線ハンディターミナルです。
特に iPhone と区別する場合はこのように表記します。
現在対応の無線ハンディターミナルについては動作環境をご確認下さい。
- iPhone 特に HT と区別する場合はこのように表記します。iPod touch も含みます。
- タップ iPhone 画面をタッチすること
- システム管理者 お客様側のシステム管理者を指します。

第1章 概要	10
1-1 サービス内容・動作環境	11
1-2 主要スペック	12
[1] 入力項目の入力桁数と表示桁数	12
[2] 参照項目の表示桁数	13
1-3 機能一覧	14
1-4 「在庫スイートクラウド」と「モバイルオプション」の構成	15
第2章 基本動作	16
2-1 初期設定と起動と終了(HTのみ)	17
[1] 初期設定	17
[2] HTの起動と起動画面	17
[3] ログイン	18
[4] ログアウトと終了	18
2-2 インストールと起動・終了(iPhoneのみ)	19
[1] インストール (ダウンロード)	19
[2] 初期設定	20
[3] 起動と起動画面	21
2-3 システム設定	22
[1] PC側設定	22
[2] 設定による画面変更	24
2-4 メニュー	25
[1] 各作業とメニュー	25
2-5 画面構成	26

[1] 1行目の役割	26
[2] 2行目以降の役割	26
2 - 6 データ入力.....	27
[1] バーコード／QRコード入力.....	27
[2] マニュアル入力.....	27
[3] 入力時の台帳参照	28
[4] 入力のスキップ.....	28
[5] 特殊キーについて（HTのみ）	28
2 - 7 品目の入力	29
[1] 設定別の品目入力	29
[2] コードの切替	30
[3] 1つの品目コードに複数のKeyコードが存在した場合.....	30
2 - 8 在庫状態の入力	31
[1] 在庫状態入力の必要性	31
[2] 在庫状態の自動入力と変更	31
[3] 在庫状態入力の操作.....	32
2 - 9 入力時の在庫参照と推奨ロケーション入力	33
[1] 入力時の在庫参照とその活用法.....	33
[2] 推奨ロケーション入力	34
2 - 10 QRコード現品票とバーコード現品票.....	35
[1] QRコード現品票.....	35
[2] ロット1、ロット2非表示時.....	35
2 - 11 GS1-128/GS1 Databarについて	36
[1] GS1-128/GS1 Databarの内容.....	36
[2] 品目台帳に登録するバーコードについて	36
[3] GS1-128/GS1 Databarの読取.....	37
[4] GS1-128/GS1 Databar読取後の動作について	37

2 – 1 2 実績データの登録	38
[1] 実績伝票の登録と破棄	38
[2] 伝票日付と登録日時	38
2 – 1 3 入荷検品・出荷検品（仮引当）の操作	39
[1] 対象伝票の指定方法.....	39
[2] 検品作業.....	40
[3] 検品の登録.....	41
[4] 複数のモバイル機器での入荷検品.....	41
2 – 1 4 出荷検品（本引当）の操作	42
[1] 対象伝票の指定方法.....	42
[2] 検品作業.....	43
[3] 検品の登録.....	44
[4] 複数のモバイル機器での出荷検品.....	44
[5] 元伝票番号検索について.....	45
2 – 1 5 ファンクションキーの役割（HTのみ）	46
[1] ファンクションキーの役割	46
2 – 1 6 ローバッテリー（HTのみ）	47
[1] ローバッテリー発生.....	47
2 – 1 7 その他	48
[1] 入力画面の明細件数について	48
[2] リジューム.....	48
[3] M2キーによる専用画面呼び出し（HTのみ）	48
第3章 入荷	49
3 – 1 入荷実績	50
[1] 作業概要.....	50
[2] 入力画面.....	50

3 - 2 入荷検品	51
[1] 作業概要.....	51
[2] 入力画面.....	52
3 - 3 入荷返品	54
[1] 作業概要.....	54
[2] 入力画面.....	54
第4章 出荷	55
4 - 1 出荷実績	56
[1] 作業概要.....	56
[2] 入力画面.....	56
4 - 2 出荷検品 (仮引当)	57
[1] 作業概要.....	57
[2] 入力画面.....	58
4 - 3 出荷検品 (本引当)	60
[1] 作業概要.....	60
[2] 入力画面.....	61
4 - 4 出荷返品	63
[1] 作業概要.....	63
[2] 入力画面.....	63
第5章 振替	64
5 - 1 移動	65
[1] 作業概要.....	65
[2] 入力画面.....	65
第6章 棚卸	66

6 - 1 棚卸	67
[1] 作業概要.....	67
[2] 入力画面.....	67
第7章 在庫参照	68
7 - 1 在庫参照	69
[1] 作業概要.....	69
[2] 入力画面.....	69
第8章 付録	70
8 - 1 警告	71
[1] 警告画面表示.....	71
[2] 警告一覧.....	71
8 - 2 エラー	72
[1] エラー画面表示.....	72
[2] エラー一覧（共通）	73
[3] エラー一覧（Proのみ）	74
8 - 3 @Hywayエラー	75
[1] 無線送信エラーとその対応.....	75
[2] その他のエラーと対応.....	76
[3] @Hyway設定画面とバージョン確認.....	76

第1章 概要

1-1 サービス内容・動作環境

■ サービス内容

システム提供時間	24 時間 365 日
ヘルプデスク提供時間	当社営業日 9:00-12:00 13:00-17:30
データセンター	Microsoft Azure 日本データセンター *1
セキュリティ	AES 暗号化

*1. サーバーの冗長化とデータ保護、サーバー監視と障害対応は Microsoft Azure に依存

■ 動作環境

モバイル デバイス	ハンディターミナル	デンソーウェーブ製 ・BHT-1300B BHT-OS シリーズ(Wi-Fi 対応機種)
	iOS	iOS 11/12/13 ※iPhone 及び iPod touch に最適化
ネット ワーク	常時接続可能なインターネット回線（1.5Mbps 以上の回線を推奨） TCP/UDP(ポート 6667)によるインターネットアクセスが可能なこと Wi-Fi 接続であること ※プロキシ経由での接続には対応していません。	

1-2 主要スペック

[1] 入力項目の入力桁数と表示桁数

バーコードやQRコードによる入力では、システムの最大桁数まで入力出来ます。
データが表示桁数を超える場合は、先頭から表示できる最大桁数までを表示します。

項目	文字種	システム最大桁数 (入力最大桁数)	HT 表示桁数*6
Keyコード	半角*1	32桁	17桁：Keyコード入力待ち状態
品目コード	半角*3 (英字は大文字のみ)	50桁	17桁：品目コード入力待ち状態
数量	整数+小数	9桁+3桁	9桁+3桁
箱数	整数	5桁	5桁
倉庫コード	半角英数字*1	6桁	6桁
ロケーションコード	半角英数字*1	17桁	17桁
出荷先コード 仕入先コード 直送先コード	半角英数字*1	15桁	15桁
グループID	英数字	30桁	20桁
ユーザー	英数字*2	20桁	20桁
パスワード	英数字	20桁	20桁
ロット1・2	全角・半角*3とも	40桁	17桁
伝票番号	数字	12桁	12桁
元伝票番号	全角・半角*3とも	35桁	12桁

*1・・・「|」(シングルクォーテーション)のみ入力不可です。

*2・・・数字(0~9)、英字(大文字/小文字は区別されません)、「-」「_」「.」が入力可能です。

*3・・・「|」(シングルクォーテーション)と「,」(カンマ)のみ入力不可です。

*4・・・Keyコード入力待ち状態

*5・・・品目コード入力待ち状態

*6・・・iPhoneは文字により幅が異なり表示桁数が可変となります。

一般的にはHT表示桁数より多く表示できます。

[2] 参照項目の表示桁数

モバイル機器は画面領域が限られており、全てを表示することは出来ません。

データが表示桁数を超える場合は、先頭から表示できる最大桁数までを表示します。

参照項目の表示桁数は以下の通りです。

項目	HT 表示桁数(半角)*2	文字種&システム最大桁数
Key コード	20 桁 : 品目コード入力待ち状態	32 桁(半角)
品目コード	20 桁 : Key コード入力待ち状態	50 桁(半角)
品目名 1・2 *1	40 桁	各 500 桁(全角・半角とも)
入数	8 桁	6 桁(整数) 4 桁+3 桁(小数)
単位	4 桁	8 桁(全角・半角とも)
倉庫名	20 桁	20 桁(全角・半角とも)
仕入先名 1・2 *1	180 桁	100 桁(全角・半角とも)
出荷先名 1・2 *1	20 桁 (出荷検品確認時 : 33 桁)	100 桁(全角・半角とも)
ユーザー名前	20 桁	30 桁(全角・半角とも)
摘要 (伝票ヘッダ)	200 桁	500 桁(全角・半角とも)

*1・・・名称 1・2 を連結した文字列が表示されます。

品目名については、略称が設定されていれば、略称を表示します。

*2・・・iPhone は文字により幅が異なり表示桁数が可変となります。

一般的には HT 表示桁数より多く表示できます。

1-3 機能一覧

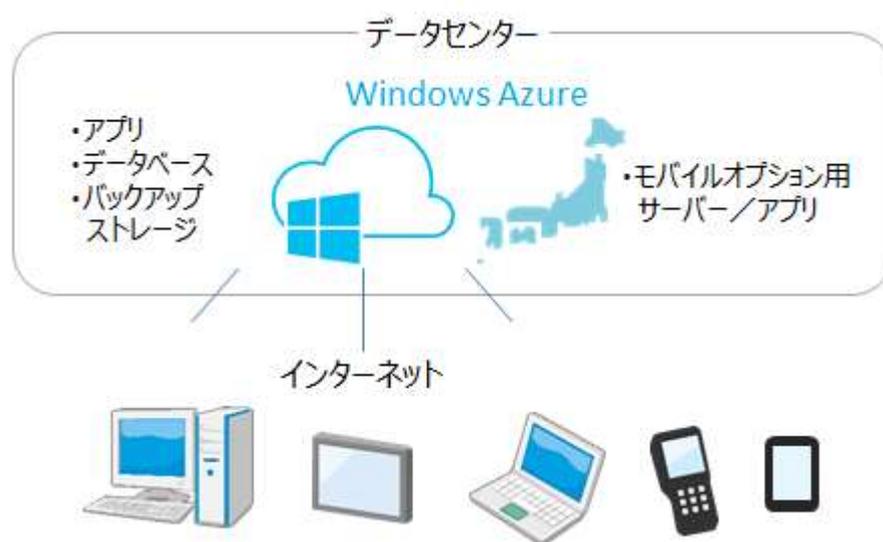
本サービスの機能一覧です。

エディション		棚卸	Lite	Pro
権限管理	ログイン認証	○	○	○
入荷	入荷実績	—	○	○
	入荷検品	—	—	○
	入荷返品	—	○	○
出荷	出荷実績	—	○	○
	出荷検品 *1	—	—	○
	出荷返品	—	○	○
振替	移動	—	○	○
在庫参照	在庫参照	○	○	○
棚卸	棚卸	○	○	○

*1・・・設定により仮引当または本引当に対応します。

1-4 「在庫スイートクラウド」と「モバイルオプション」の構成

「在庫スイートクラウド」の構成を示します。



インターネットに接続された機器でご利用頂けます。

詳しくは、在庫スイートクラウドと、モバイルオプションの動作環境をご確認下さい。

第2章 基本動作

2-1 初期設定と起動と終了(HTのみ)

[1] 初期設定

モバイルオプションはミドルウェア環境@Hyway で動作しています。

HTは弊社からの供給となりますが、通常は、Hywayブラウザーがインストールされ、Hywayブラウザー用設定が完了している状態でお客様に出荷します。

但し、無線通信については、ハンディターミナルに対して、お客様の無線環境に合わせた設定が必要となります。

ハンディターミナルの「SYSTEM MENU」より

- ・SSID 設定
- ・セキュリティモード
- ・パスワード
- ・IP 設定

などを設定した後、利用を開始します。

※設定方法は各ハンディターミナルのマニュアルをご覧ください。

※弊社が現地設置作業として設定することも可能ですのでお問い合わせ下さい。

その際、上記情報をご提示頂きます。

[2] HT の起動と起動画面

HTの電源キーを押下すると、本アプリケーションが起動し、以下の起動画面が約1.5秒表示します。

在庫スイートクラウド
モバイルオプション
for BHT

Ver 1.00

注意！

上記起動画面が表示せずエラー画面を表示した場合は、初期設定がされていないか、無線環境が悪い可能性が考えられます。必ずエラーが発生する場合は、システム管理者にお問い合わせ下さい。

[3] ログイン

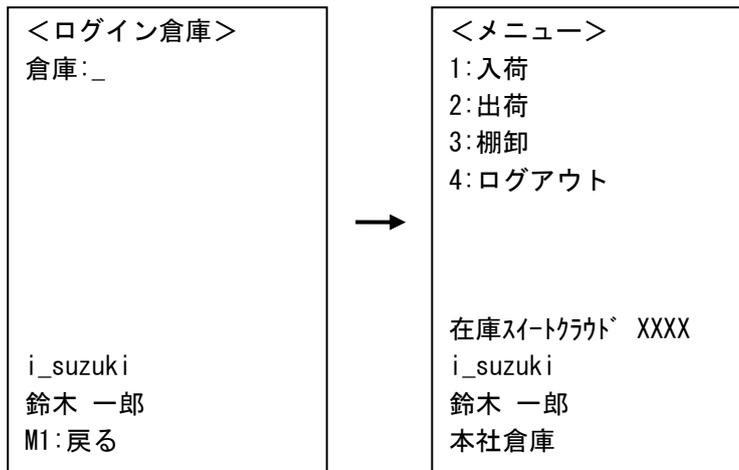
起動後ログイン画面が表示されます。

アカウント情報をバーコードまたはテンキーで入力します。

<ログイン>
グループ ID
ユーザー
パスワード

アカウント情報が正しければ、次の画面に進みます。

ログインユーザーの所属倉庫が「全倉庫」の場合は、ログイン倉庫の入力となりますので、倉庫コードを入力します。ログイン倉庫が決まると、メニューが表示されます。



なお、ログイン後 30 分以上通信を行わないとタイムアウトし、再ログインを促されます。

また、同じアカウントで別の端末からログインすると、前にログインしている側が押し出されます。

複数人で同じアカウント（ユーザー・PW）を利用することは、セキュリティ面でも危険な運用であり、契約面でも違反となります。必ず、お一人、1 アカウント（ユーザー・PW）で運用下さい。

[4] ログアウトと終了

本アプリケーションを終了する時は、ログアウトをした後、電源キーを押下して下さい。

ログアウトせずに電源を切ると、システム側にログイン情報が残ったままとなり、データベースのリストア等の処理が出来ません。再度ログインし、正しい手順で終了して下さい。

2-2 インストールと起動・終了(iPhone のみ)

[1] インストール (ダウンロード)

iPhone の場合、無線通信用の設定は不要ですが、お客様が Hyway ブラウザーアプリをインストールし利用するため、Hyway ブラウザー用設定が必要です。

まずは、App Store から「Hyway」または「Hyway +」を検索してダウンロードして下さい。



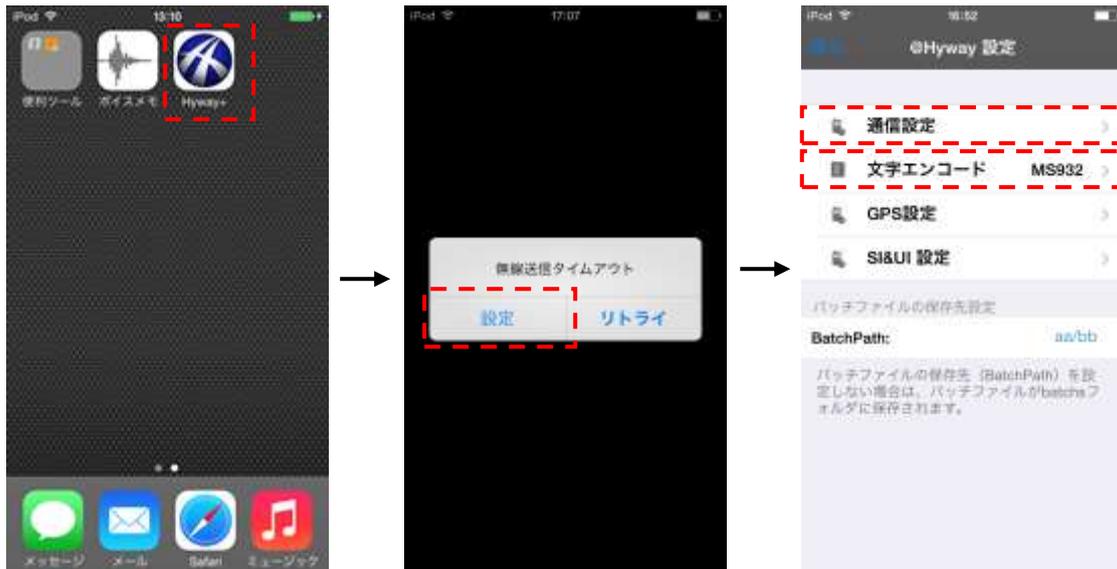
注意！

どちらのアプリを利用すべきかはオンラインサポートをご覧ください。
<http://zaikosapp.blob.core.windows.net/support/>

[2] 初期設定

最初の一度だけ Hyway 側の設定が必要です。

Hyway アプリを起動すると、エラーが発生しますので「設定」を選び、@Hyway 設定画面を表示します。「通信設定」と「文字エンコード」を設定します。



<通信設定>

事前に通知している IP アドレス、ポート番号、GroupID を設定します。



<文字エンコード>

「MS932」を設定します。



[3] 起動と起動画面

Hyway アプリを起動すると以下の起動画面が約 1.5 秒表示します。



注意！

上記起動画面が表示せずエラー画面を表示した場合は、初期設定がされていないか、無線環境が悪い可能性と考えられます。必ずエラーが発生する場合は、システム管理者にお問い合わせ下さい。

2-3 システム設定

PC側のシステム設定により、本アプリケーションの動作を変更します。

[1] PC側設定

本アプリケーションに関連するシステム設定は以下の通りです。

なお、システム設定は「システム管理者権限」を持つユーザーのみ利用出来ます。

システム設定
✕

自社情報
システム運用
項目名
表示
入力
帳票
モバイル
モバイル
▶

数量

小数入力 禁止 (整数のみ許可)
 許可 小数桁

在庫管理(Z)

通常品以外の在庫状態を拡張する

入荷時の在庫状態 明細入力

在庫参照(品目別)の初期条件指定
 一括引当対象外を出荷不能で算出する

使用項目

品目コード 品目名2
 品目台帳-予備項目 品目台帳-注意メッセージ

メニュー表示

入荷予定と入荷検品 出荷指示・引当と出荷検品
 現品票発行 配送番号反映
 積送中メンテナンス

インポート時台帳自動更新

入荷予定 出荷指示

説明

第2章 基本動作

タブ	設定項目	モバイル機器側への反映内容
システム運用	小数入力	モバイルオプションも本設定に従います。
システム運用	使用項目 > 品目コード	モバイルオプションも本設定に従います。 未使用の場合は、モバイル機器の画面に品目コードが表示されません。
入力	品目バーコード読み取り > 標準検索項目	モバイルオプションも本設定に従います。 ※モバイル機器での切替は可能
入力	QRコード現品票、 独自バーコード	モバイルオプションも本設定に従います。
モバイル	メニュー選択 > 各メニュー	使用するメニューを ON にします。 ※モバイルオプションは、倉庫間入荷・倉庫間出荷・移動 & 在庫状態変更には対応していません。
モバイル	使用項目	ロット 1、ロット 2、ロケーション項目を使用する場合は ON にします。
モバイル	項目名	「品」は品目を特定するための入力項目、「L1」はロット 1、「L2」はロット 2 です。 全角 1 文字（半角 2 文字）の任意の文字に変更できます。
モバイル	ロケーション初期値	入荷、出荷、棚卸でロケーションを都度入力するか、棚卸だけ前回入力値を初期値とするか、全ての入力で前回入力値を初期値とするかを設定します。
モバイル	出荷設定 > 検品対象	出荷検品時、作業対象の伝票を指定する際に「引当伝票番号」「元伝票番号」のいずれかを初期状態とするかを設定します。 ※Pro のみ ※モバイル機器での切替は可能
モバイル	出荷設定 > 出荷検品 ENT 確定	出荷検品の流通コード、ロケーション、ロット 1、ロット 2、数量の入力時、ENT 押下で次の項目へ進む場合は ON に設定します。 ※Pro のみ

注意！

本設定は、HT/iPhone 共通設定です。

[2] 設定による画面変更

品目コード、ロット 1、ロット 2 を非表示とすると、対象項目より下に表示される項目はその分上に詰めて表示されます。なお、本マニュアルでは、全項目表示を前提として記載しています。

○全項目表示の場合の画面

<入荷実績>	000
品:009331011A	
SB001NS001	
シリンダーブロック F	
J4-1	
L1: _	
L2:	
町:	
数:	
F1:入力切替	
M1:戻る	

○品目コード、ロット 1、ロット 2 非表示の場合の画面

<入荷実績>	000
品:009331011A	
シリンダーブロック F	
J4-1	
町: _	
数:	
F1:入力切替	
M1:戻る	

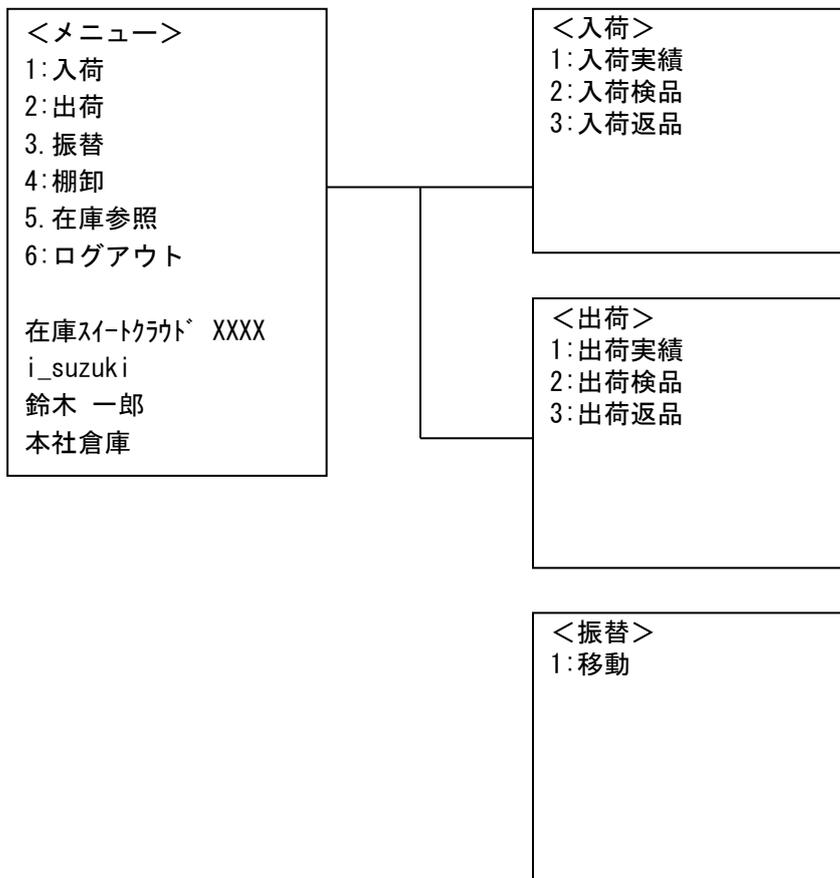
非表示項目が消え、
上に詰めて表示され
ます。

2-4 メニュー

本アプリケーションでは、メニューを選択することにより各作業を行います。

[1] 各作業とメニュー

入荷、出荷は、二階層メニューとなっています。



※XXXX にはエディションが表記されます。

※上記は全機能を利用した場合のメニューです。エディションやシステム設定により表示されないメニューがあります。

2-5 画面構成

ここでは、本アプリケーションでの画面表示の基本構成について説明します。

[1] 1行目の役割

1行目では、タイトルや件数が表示されます。

<入荷実績>	000
品:_	
(Key コード)	
L1:	
L2:	
呟:	
数:	
F1: 入力切替	
M1: 戻る	
■	

[2] 2行目以降の役割

2行目以降では、データの入力や表示を表示します。

HT と iPhone の表示はほぼ同じですが、HT の場合は最下行の上 2 行、iPhone の場合は各画面の定められた所に 2 行、入力ガイダンスが表示されることがあります。

また、HT の場合は最下行左にはバッテリー残量、最下行中央には電波強度が表示されます。

<HT の場合>

<入荷実績>	000
品:_	
(Key コード)	
L1:	
L2:	
呟:	
数:	
F1: 入力切替	
M1: 戻る	
■	

<iPhone の場合>

<入荷実績>	000
品:_	
(Key コード)	
L1:	
L2:	
呟:	
数:	
F1: 入力切替	
M1: 戻る	

※以後、本マニュアルでは HT 表示で記載します。なお、最下行は表記しません。

2-6 データ入力

データの入力方法は、バーコード／QRコード入力と手入力の2通りの入力方法があります。

[1] バーコード／QRコード入力

<HTの場合>

トリガスイッチを押下すると照明光が照射されバーコード／QRコードが読み取れます。

バーコード／QRコードは照明光が点灯している間、読み取ることができます。

但し、桁数や内容など、各項目の入力条件に合わない場合は読み取りません。

<iPhoneの場合>

入力欄の右側にあるバーコードアイコンをタップすることで内蔵カメラによるバーコード読み取りが起動します。読み取り画像が画面上部に表示され、画面全体が下がります。

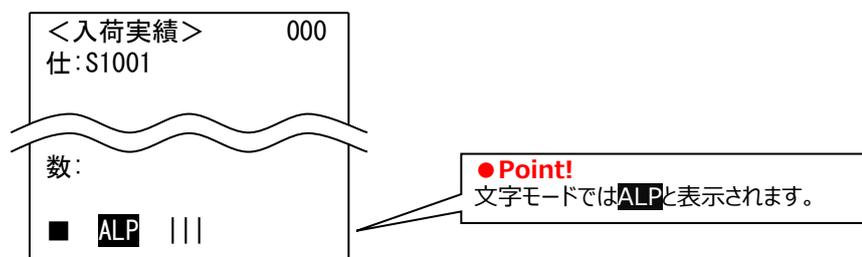
[2] マニュアル入力

<HTの場合>

キーを使ってデータを入力することも可能です。このキーを使った入力をマニュアル入力と呼びます。マニュアル入力は以下の場合などで用いられます。

- ・数量入力など、バーコード／QRコードが用意されていないデータ入力の場合
- ・汚れやキズ等の理由でバーコードを読み取れない場合

マニュアル入力には、数字を入力する数字モードと文字（英文字／記号）を入力する文字モードの2つのモードがあります。マニュアル入力開始直後は数字モードとなります。SFキー押下によりモードを切り替えることができます。マニュアル入力・文字モード中は、画面最下行目のバッテリー残量横にモード別のマークを表示します。



<iPhone の場合>

内蔵カメラによりバーコード読み取りが起動していない状態で入力欄をタップすると、ソフトウェアキーボードが現れます。

[3] 入力時の台帳参照

品目・出荷先・仕入先・担当者（ユーザ）・ロケーション・倉庫・理由のコード入力時、入力したコードと台帳の内容を照会して、存在すれば名称を表示します。

（ロケーションは台帳の内容との照会のみ行います。）

台帳に存在しないコードであれば、エラーを表示します。

[4] 入力のスキップ

<HT の場合>

マニュアル入力した場合、入力内容は ENT キー押下で確定されます。

スキップ可能な項目の場合は、データ未入力状態で ENT キーを押下するとスキップして、カーソルが次の項目に移動します。

<iPhone の場合>

スキップ可能な入力項目では「SKIP」ボタンが現れます。ボタンを押下するとスキップして、カーソルが次の項目に移動します。

[5] 特殊キーについて（HT のみ）

本アプリケーションでは、特別な役割を持たせているキーを「特殊キー」と言います。

特殊キーとその役割は下記の通りです。

特殊キー一覧表	
特殊キー	機 能
ENT	入力したデータを確定します。また、スキップ可能な項目の場合、データ未入力状態で ENT キーを押下するとその項目をスキップします。
BS/C	1文字消去します。又、1秒以上の長押しで入力を全て消去します。
BS	1文字消去します。
C	入力を全て消去します。
SF	数字モード⇔文字モード間のモード切替を行います。

2-7 品目の入力

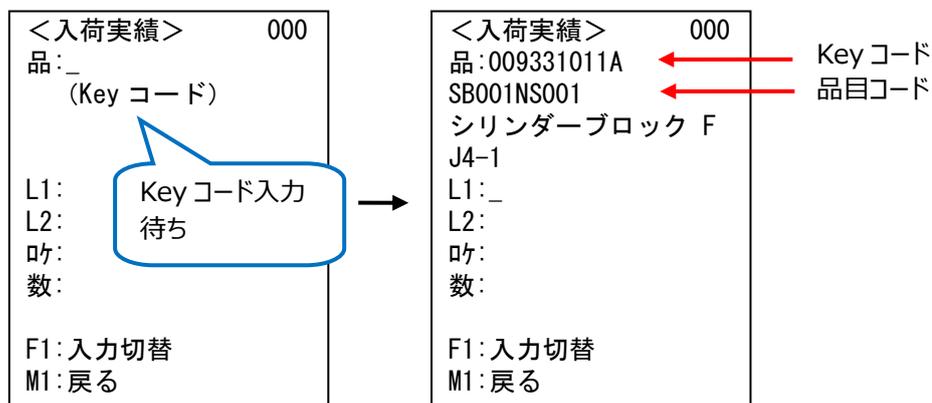
[1] 設定別の品目入力

在庫スイートクラウドでは、品目を特定するコードはKeyコードですが、Keyコードが直接バーコード化されている運用の他に、品目コードを読み取ることで、Keyコードを決定し品目を特定することも出来ます。

<Keyコード入力待ち運用>

システム設定が以下の場合は [Keyコード] 入力待ち運用となります。

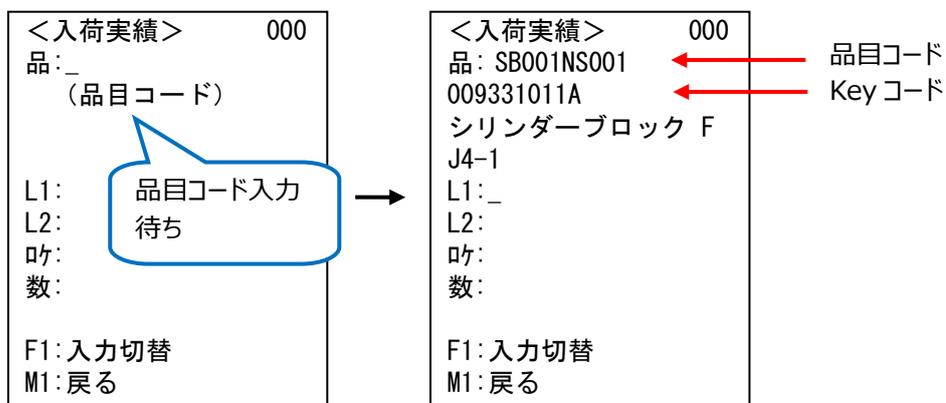
- ・「品目コード」=OFF
- ・「品目コード」=ON かつ「標準検索項目」=「Keyコード」



<品目コード入力待ち運用>

システム設定が以下の場合は [品目コード] 入力待ち運用します。

- ・「品目コード」=ON かつ「標準検索項目」=「品目コード」



[2] コードの切替

Key コード入力待ち運用において、一時的に品目コードや品目名入力待ちに切り替えることが出来ます。

逆に、品目コード入力待ち運用において、一時的に品目名や Key コード入力待ちに切り替えることが出来ます。

一時的に切り替えている状態では、[品]の文字の背景が赤くなります。

なお、Key コードと品目コードは完全一致、品目名は一部一致で検索します。

<コード切替での入力イメージ>

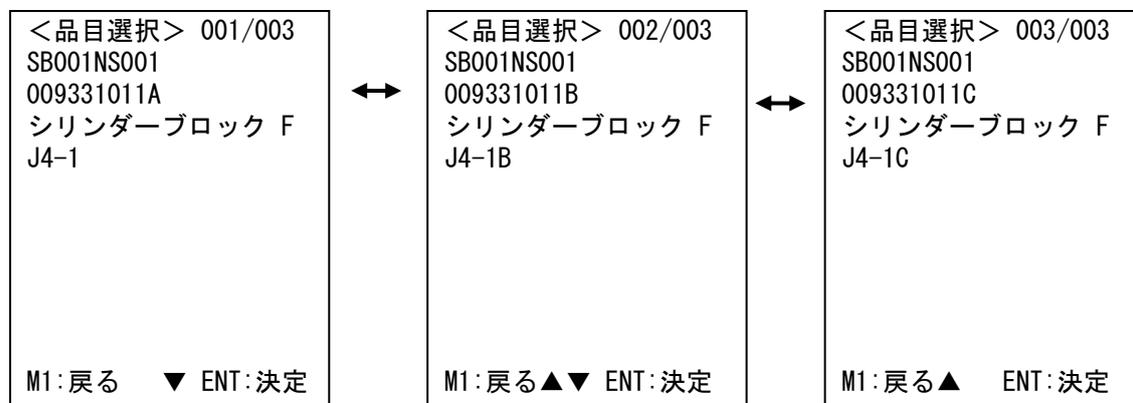


[3] 1つの品目コードに複数の Key コードが存在した場合

品目コードや品目名を読み取った場合は複数の Key コードがヒットすることがあります。

その時は、品目選択画面が表示されますので、Key コードや品目名を確認した後、ENT で決定します。

<品目選択画面イメージ>



2-8 在庫状態の入力

[1] 在庫状態入力の必要性

本サービスは状態別での在庫管理が可能です。

ノーマルな入荷（入荷実績、入荷検品）やノーマルな出荷（出荷実績、出荷検品）は常に『通常品』に対し処理する為、在庫状態を指定する必要はありませんが、その他のメニューでは指定します。

[2] 在庫状態の自動入力と変更

<管理中在庫に対する処理（棚卸除く）>

「入荷返品」「移動」は管理している在庫に対する処理です。

在庫状態の入力前に入力している情報（品目、ロット、ロケーション）より、PC 在庫を検索し、その結果により動作が異なります。

既に入力している情報での在庫検索の結果	入力時の動作	在庫状態変更画面のリスト
ヒットせず	カーソルは在庫状態、初期値「通常品」。	全ての在庫状態
1つの在庫状態だけヒット	該当の在庫状態を自動入力し次に進む。	ヒットした在庫状態
複数の在庫状態がヒット	ヒットしたうち優先順位の高いものを自動入力し次に進む。	

※優先順位：通常品>不良品>修理中>確保

<管理外在庫に対する処理>

「出荷返品」は管理外の在庫に対する処理です。

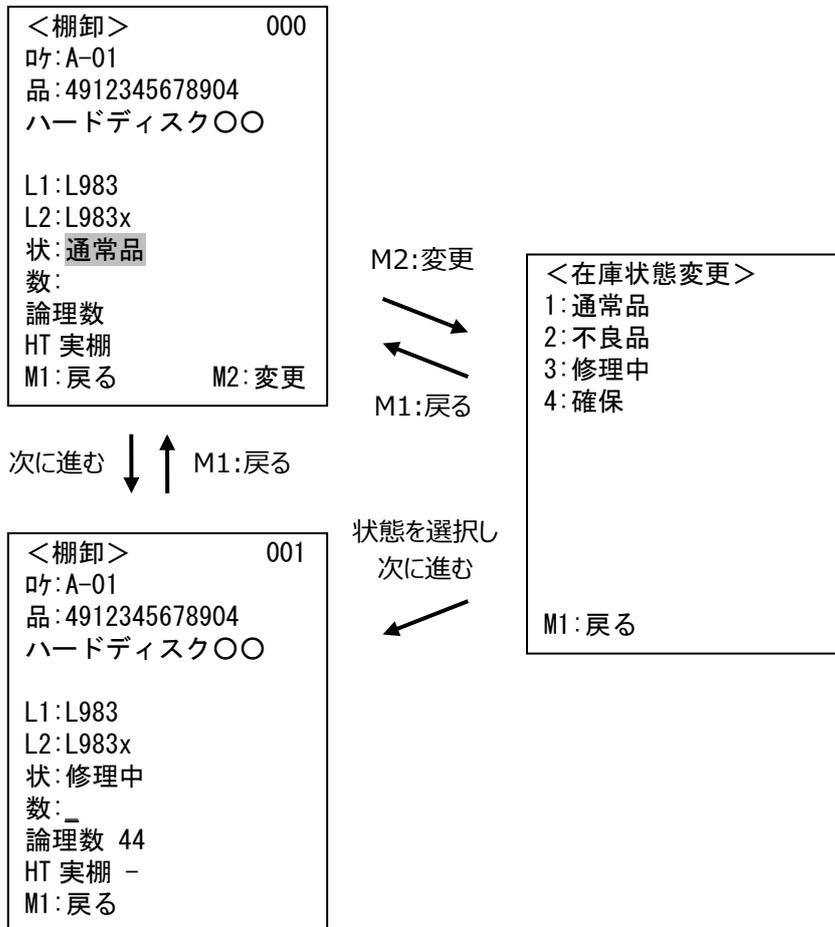
既に入力している情報での在庫検索の結果	入力時の動作	在庫状態変更画面のリスト
—	カーソルは在庫状態、初期値「通常品」。	全ての在庫状態

<棚卸に対する処理>

既に入力している情報での在庫検索の結果	入力時の動作	在庫状態変更画面のリスト
—	「通常品」を自動入力し次に進む。	全ての在庫状態

[3] 在庫状態入力操作

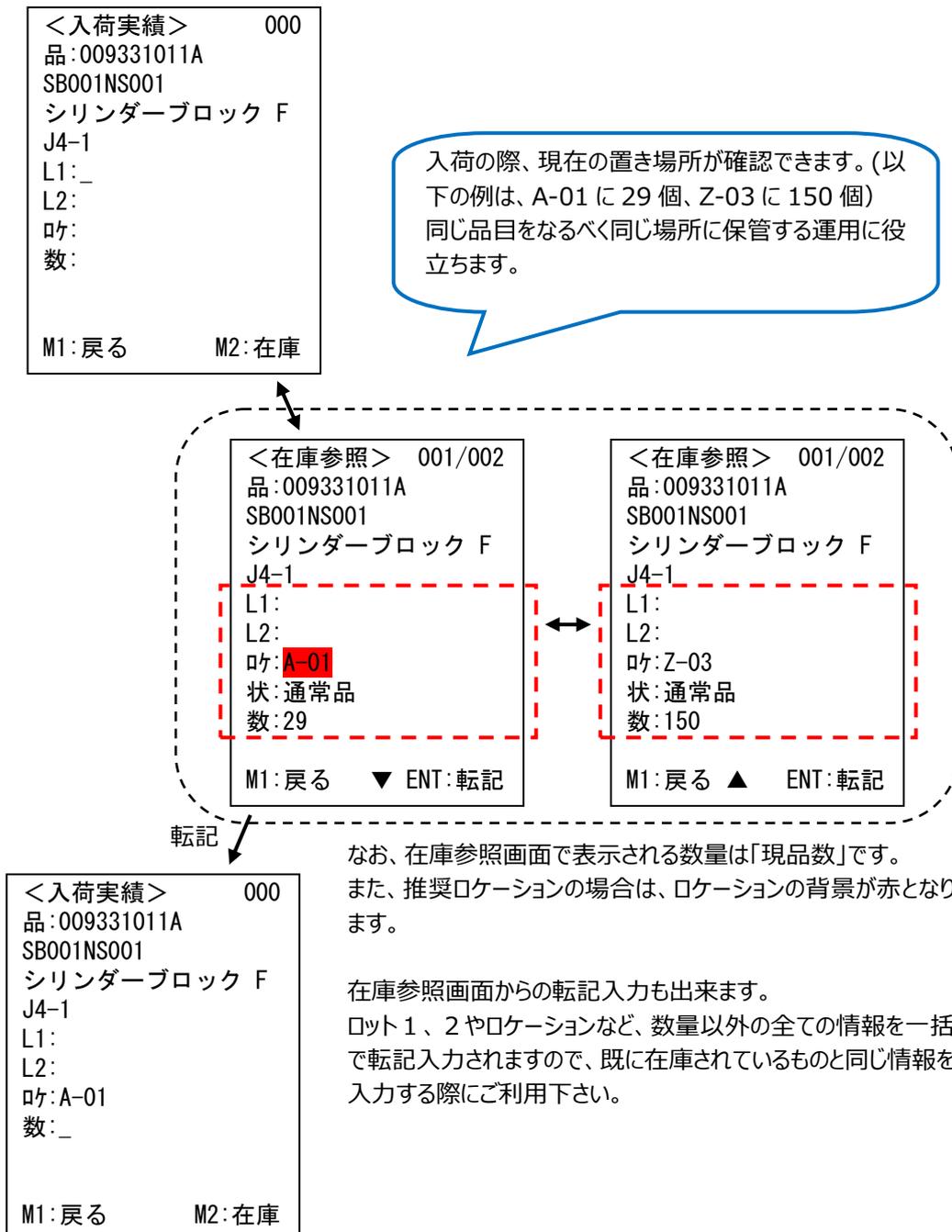
在庫状態は専用画面で選択します。



2-9 入力時の在庫参照と推奨ロケーション入力

[1] 入力時の在庫参照とその活用法

入荷実績や入荷検品を登録する際、品目を入力すると、その品目の在庫情報を確認することが出来ます。異なるロケーションやロットの在庫があればそれぞれ表示されます。

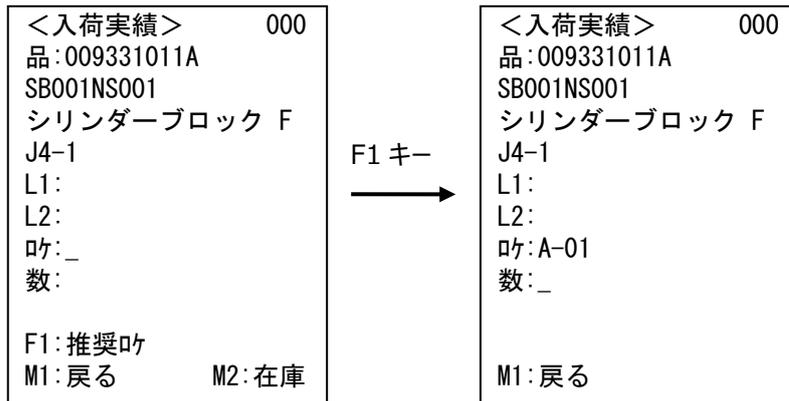


[2] 推奨ロケーション入力

同じ品目は、出来るだけ同じ場所に保管する運用では、在庫スイートクラウドの「品目台帳」に推奨ロケーションを設定しておくこと更に便利です。

品目入力後、ロケーション入力時に F1 キーを押すと自動的に推奨ロケーションが入力されます。

表示されたロケーションに沿って在庫を保管することでモノの分散を防ぐことが出来ます。



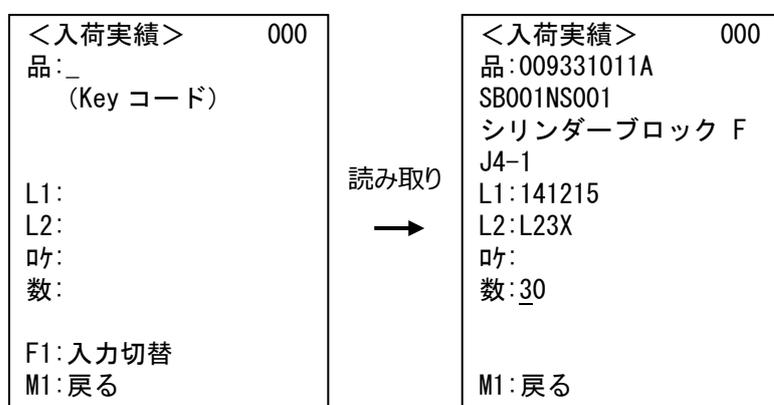
所定の置き場所（推奨ロケーション）が一杯で置けなかった場合は、別のロケーションに保管します。その際は、実際に保管したロケーションに変更して下さい。

2-10 QRコード現品票とバーコード現品票

[1] QRコード現品票

「在庫スイートクラウド」では、独自の QR コード現品票を発行できます。
QR コード現品票には、バーコード・品目コード・品目名・ロット1・2・数量といった情報が盛り込まれています。「品」にカーソルがある状態で、QR コード現品票を読み込むと、これらの情報が一括で入力されます。

<QRコード現品票の入力イメージ>



数量が初期表示されている場合は、ENT キー押下で表示の数量が入力されます。

[2] ロット1、ロット2非表示時

ロット1、またはロット2を非表示で運用している際、非表示項目にデータがセットされている QR コード現品票を読み取るとエラーとなります。

2-1-1 GS1-128/GS1 Databar について

[1] GS1-128/GS1 Databar の内容

本アプリケーションでは、GS1-128/GS1 Databar を読み取ることで、品目やロットなどの入力を行うことができます。本アプリケーションで読み取る GS1-128/GS1 Databar の内容は以下の通りです。

アプリケーション 識別子(AI)	内容	「在庫スイート3」 対応項目
(01)	「梱包インディケータ(1桁)※1」+ 「JANコードの1～12桁目(12桁)」+ 「チェックデジット(1桁)」のうち、 JANコードの1～12桁目のみを抜き出し、 それにチェックデジットをつけて入力します。	バーコード
(17)	「有効期限(6桁)※2	ロット1
(30)	「数量(最大8桁)※2	数量
(10)	「ロット(最大20桁)※2 ※3	ロット2
(21)	「シリアル(最大20桁) ※2 ※3	ロット2

- ※1 梱包インディケータは、「在庫スイートクラウド」上に記録されません。
梱包インディケータに関わらず「在庫スイートクラウド」で登録している単位を使用します。
- ※2 GS1-128/GS1 Databar に情報が含まれている場合のみ、入力されます。
- ※3 「ロット」と「シリアル」の両方とも GS1-128/GS1 Databar バーコードに含まれている場合、ロット2には、「LOT123 / 00123」のように"/"で区切って入力します。

[2] 品目台帳に登録するバーコードについて

GS1-128/GS1 Databar を読み取る場合、品目台帳のバーコードには JAN コードを登録します。JAN コードは、GS1-128/GS1 Databar に含まれる JAN コードの 1～12 桁目にチェックデジットをつけた 13 桁のコードとなります。

なお、GS1-128/GS1 Databar に含まれる「チェックデジット」は、対象範囲が異なるため、JAN コードのチェックデジットとは異なります。

例) GS1-128と品目台帳の対応例



[3] GS1-128/GS1 Databar の読取

本アプリケーションでは、「品」にカーソルがある状態で、GS1-128/GS1 Databar を読み取ると、バーコード・有効期限・ロット・シリアル・数量の情報が一括で入力されます。なお、有効期限・ロット・シリアル・数量は、GS1-128/GS1 Databar に各情報が含まれる場合のみ入力されます。また、数量は読み取ったデータが初期表示され、変更することも可能です。

<GS1-128/GS1 Databar の入力イメージ>



[4] GS1-128/GS1 Databar 読取後の動作について

GS1-128/GS1 Databar 読取後のカーソルの位置は、有効期限・ロット・シリアルのいずれかの情報が含まれる場合、現品票 QR コード読取時と同じとなり、それ以外はバーコード読取/テンキー入力時と同じとなります。なお、ロット1、またはロット2を非表示で運用している際、非表示項目にデータがセットされているGS1-128/GS1 Databar を読み取るとエラーとなります。

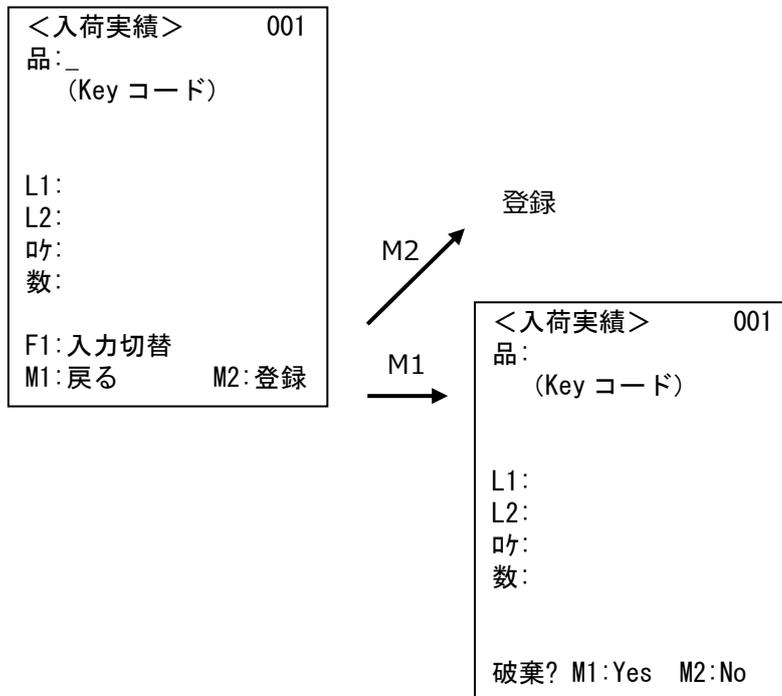
2-12 実績データの登録

[1] 実績伝票の登録と破棄

入荷実績、出荷実績、棚卸では、品目と数量を入力した状態では、まだ登録されていません。

1件以上入力すると、「M2:登録」の入力ガイダンスが表示されます。この状態で、M2キーを押下することにより入力した情報が登録されます。

1件以上入力した後、登録せずにM1（戻る）キーを押下した場合は、破棄の確認メッセージに切り替わります。破棄を確定すると、登録せずにヘッダ情報入力画面に戻ります。



[2] 伝票日付と登録日時

伝票日付、伝票登録日時とも登録を完了したタイミングより決定します。サーバー側の時刻により決まり、モバイル機器がもつ時計機能には依存しません。

2-13 入荷検品・出荷検品（仮引当）の操作

[1] 対象伝票の指定方法

入荷検品は、在庫スイートクラウド Pro へ登録された「入荷予定伝票」に沿って作業を行います。最初にごの入荷予定伝票の作業を行うのかをモバイル機器で指定しますが、その方法として2通りあります。

1つは、在庫スイートクラウド Pro から発行する入荷予定明細書のバーコード（=入荷予定伝票番号）を読み取る方法。2つ目は、発注書など、上位システムで発行される帳票の番号＝「元伝票番号」を入力する方法。これらはシステム設定により、初期状態としてどちらのデータの入力待ちかを設定できます。また、一時的に切り替えることも可能です。

<入荷予定明細書入力待ち状態の画面> <元伝票番号入力待ち状態の読み取り画面>

システム設定が

「検品対象」= 予定伝票番号

<入荷検品> 対象 > : 入荷予定 No - F1: 対象切替 M1: 戻る

システム設定が

「検品対象」= 元伝票番号

<入荷検品> 対象 > : 元伝票番号 - F1: 対象切替 M1: 戻る

出荷検品（仮引当）も入荷検品と同じく、出荷指示伝票に沿って作業を進めます。出荷指示明細書のバーコード（=出荷指示伝票番号）を読み取るか、受注や売上など上位システムで発行される帳票＝「元伝票番号」を入力し、作業を行う出荷指示伝票を指定します。

なお、以降の説明は入荷検品で説明しますが、出荷検品（仮引当）も同様ですので、適宜読み替えて下さい。

[2] 検品作業

作業すべき入荷予定伝票が決定すると、品目などの明細入力待ちとなります。
入力順は特に問いません。

<入荷検品> 000/003 品:_ (Key コード) L1: L2: 叩: 数: 計: 予: M1:戻る F1:入力切替

<入荷検品> 001/003 品:009331011A SB001NS001 シリンダーブロック F J4-1 L1: L2: 叩: 数: 計: 予: M1:戻る F1:入力切替
--

明細を入力し、対象の入荷予定明細行が決定すると、入荷予定に指示されている項目（数量は除く）の背景色が青くなります。青くなった項目は指示と一致しないとエラーとなります。

<入荷検品> 001/003 品:009331011A SB001NS001 シリンダーブロック F J4-1 L1:150415 L2: 叩: 数:_ 計:0 予:3 M1:戻る F1:入力切替

数量を入力すると、入荷検品伝票に登録されます。

- 予定数と実績合計数が一致すれば該当の入荷予定明細行は処理済となります。
- 実績合計数が予定数に満たない場合は、更に入力が可能です。システム設定により、モバイル機器側の操作で処理済みとすることも可能です。
- 実績合計数が予定数を超える場合は、登録前に警告が表示されます。強制入力すると該当の入荷予定明細行は処理済となります。

[3] 検品の登録

入荷検品では、モバイル機器で入力したデータがリアルタイムに入荷検品伝票に登録されています。

<未着手の入荷予定伝票のイメージ>

入荷予定伝票	
明細 1	
明細 2	
明細 3	

作業状態 = 「未作業」です。

↓

<2明細分、モバイル機器で処理した後のイメージ>

入荷予定伝票		入荷検品伝票	
明細 1	処理済	明細 1	処理済
明細 2		明細 3-1	処理済
明細 3	処理済		

リアルタイムに入荷検品伝票に登録され、在庫計上されます。

作業状態 = 「一部済」となります。

↓

<全ての明細をモバイル機器で処理した後のイメージ>

入荷予定伝票		入荷検品伝票	
明細 1	処理済	明細 1	処理済
明細 2	処理済	明細 3	処理済
明細 3	処理済	明細 2 - 1	処理済
		明細 2 - 2	処理済

入荷予定伝票の内容が全て処理済となると、作業状態 = 「完了」となります。

なお、作業途中の状況でモバイル機器の電源を落としても、実績は残っていますので、残り作業を改めて行うことができます。

また、PC 側の入荷予定伝票や入荷検品伝票画面ではモバイル機器での処理内容を確認出来ます。

[4] 複数のモバイル機器での入荷検品

同じ入荷予定伝票を複数のモバイル機器で処理したい場合は、入荷予定伝票番号または元伝票番号を入力して作業を行います。同一日付の作業であれば同じ入荷検品伝票に追記されます。

2-14 出荷検品（本引当）の操作

[1] 対象伝票の指定方法

モバイル機器の出荷検品は、在庫スイートクラウド Pro で引き当てられた結果＝「出荷引当伝票」に沿って作業を行います。最初にどの出荷引当伝票の作業を行うのかをモバイル機器で指定しますが、その方法として3通りあります。

1つは、在庫スイートクラウド Pro から発行するピッキングリストのバーコード（＝出荷引当伝票番号）を読み取る方法。2つ目は、納品書や払出指示書など、上位システムで発行される帳票の番号＝「元伝票番号」を入力する方法。これらはシステム設定により、初期状態としてどちらのデータの入力待ちかを設定できます。また、一時的に切り替えることも可能です。

最後は、何も入力せずENTキー押下（iPhoneの場合は「一覧」ボタン押下）で、作業されていない出荷引当伝票を呼び出し、伝票番号や出荷先・直送先を確認し決定する方法です。

<ピッキングリスト入力待ち状態の画面>

システム設定が
「検品対象」＝引当伝票番号

<出荷検品>
対象 > : 引当番号
ピッキング : _

F1: 対象切替
M1: 戻る

<元伝票番号入力待ち状態の読み取り画面>

システム設定が
「検品対象」＝元伝票番号

<出荷検品>
対象 > : 元伝票番号
ピッキング : _

F1: 対象切替
M1: 戻る

<空 ENT / 「一覧」ボタン押下で出荷引当伝票呼び出し>

<出荷検品> 001/003
ピッキング : 0000000009832
元伝票番号 :

送り先: ABC 商事株式会社
直送先 :

摘要 (F2: 詳細) :

M1: 戻る ▼ ENT: 決定



<出荷検品> 002/003
ピッキング : 0000000009833
元伝票番号 :

送り先: XYZ コーポレーション株式会社
直送先 :

摘要 (F2: 詳細) :
気をつけて!

M1: 戻る ▲▼ ENT: 決定



<出荷検品> 003/003
ピッキング : 0000000009834
元伝票番号 :

送り先: 株式会社カワサキ工機
直送先 :

摘要 (F2: 詳細) :

M1: 戻る ▲ ENT: 決定

[2] 検品作業

作業すべき出荷引当伝票が決定すると、モバイル機器の画面に指示が表示されます。

未着手の明細のうち、ロケーション> 明細行 順で表示されます。

指示に対して上下キーでスキップすることも可能です。

<出荷検品> 000/002
ピッキング:0000000013416
ロケ:A-01
品:4912345678904
C0831491
ハードディスク〇〇
L1:L983
L2:L983x
引当数:3
ロケ:_
M1:戻る ▼

[3] 検品の登録

出荷検品では、モバイル機器で入力したデータがリアルタイムに出荷引当伝票に登録されています。モバイル機器への画面指示は、明細単位で着手されていない明細行が表示されます。

<未着手の引当伝票のイメージ>

出荷引当伝票	
明細 1	
明細 2	
明細 3	



<2明細分、モバイル機器で処理した後のイメージ>

出荷引当伝票	
明細 1	処理済
明細 2	処理済
明細 3	

この時点では済/未着手に関わらず、在庫は引当のままです。



<全ての明細をモバイル機器で処理した後のイメージ>

出荷検品伝票	
明細 1	処理済
明細 2	処理済
明細 3	処理済

出荷引当伝票の内容が出荷検品伝票となり、出荷が確定します。

この時点で、在庫が引落されます。

なお、作業途中の状況でモバイル機器の電源を落としても、処理済情報は残っていますので、残り作業を改めて行うことができます。

また、PC 側の出荷引当伝票や出荷検品伝票画面ではモバイル機器での処理内容を確認出来ます。

[4] 複数のモバイル機器での出荷検品

同じ出荷引当伝票を複数のモバイル機器で処理したい場合は、ピッキングリストまたは元伝票番号を入力して作業を行います。画面に表示される指示は未着手の明細行が表示されます。

[5] 元伝票番号検索について

出荷検品（本引当）で元伝票番号を入力（バーコード読み取り含む）した際、内部の検索処理としては2通りあります。

- ・完全一致検索
- ・先頭の0を外して検索（入力内容に先頭0があればそれらを外して検索）

ログイン直後は、まず完全一致検索を行い、ヒットしなければ、先頭の0を外して検索します。先頭の0を外して検索しヒットした場合、次回は先に先頭の0を外して検索し、ヒットしなければ完全一致検索を行います。

このことより、完全一致はもちろん、バーコードだけ固定長・先頭0埋めのパターンにも対応します。

パターン	登録内容例	バーコード内容例	検索結果
完全一致タイプ	123	123	ヒット
バーコードのみ固定長・先頭0埋め	123	000123	ヒット

2-15 ファンクションキーの役割（HTのみ）

[1] ファンクションキーの役割

本アプリケーションでは、それぞれのファンクションキーに役割を持たせています。

名称	機能
F 1	<ul style="list-style-type: none"> ・入力の切り替え ・Key コード入力／品目コード入力／品目名入力 ・出荷検品時の 出荷引当伝票番号／元伝票番号 ・推奨ロケーション入力
F 2	摘要詳細表示
上	在庫や指示一覧参照時、前のデータに戻ります。 検品処理で処理せず前の指示に戻ります。
下	在庫や指示一覧参照時、次のデータに進みます。 検品処理で処理せず次の指示に進みます。
M 1	<ul style="list-style-type: none"> ・戻る ・棚卸時の数量上書き ・Yes 選択
M 2	<ul style="list-style-type: none"> ・進む ・実績登録 ・棚卸時の数量加算 ・No 選択

なお、iPhone では、各機能に対応したボタンを用意しています。

2-16 ローバッテリー（HTのみ）

[1] ローバッテリー発生

電源オン時、電源オフ時又はアプリ実行中に電池電圧が警告レベルまで低下すると表示されます。

電池電圧が
低下しています

約2秒間警告表示をすると同時にブザーが3回鳴ります。
その後、通常の動作に戻ります。

電池電圧が、動作できないレベルまで低下すると表示されます。

電池電圧が
低下しています

電池電圧低下を検出すると、ブザーが5回鳴り、電源がオフされます。
電池の消耗度合いによっては、ブザーが5回鳴らない場合もあります。

満充電した充電用カートリッジに交換または
充電してください

2-17 その他

[1] 入力画面の明細件数について

入力画面での明細の最大件数は 999 件です。

[2] リジューム

HT はリジューム機能を持っていますが、電源 ON 時に必ずログインして頂く為に、リジュームは OFF で運用して下さい。

[3] M2 キーによる専用画面呼び出し（HT のみ）

HT では、M2 キー押下で専用画面を表示することが出来ます。

- ・ 状態入力専用画面
状態を入力する際に、M2 キー押下で専用画面を表示することが出来ます。
- ・ 数量入力専用画面
入数が設定されている品目の数量を入力する際に、M2 キー押下で数量詳細入力画面が表示されます。
- ・ 在庫参照画面
在庫情報を転記する際に、M2 キー押下で在庫参照画面を表示することができます。

なお、iPhone では、各機能に対応したボタンを用意しています。

第3章 入荷

3-1 入荷実績

品目の入荷情報を登録します。この処理で在庫が増えます。在庫状態は、在庫スイートクラウドで指定された状態で登録される為、モバイル機器では入力しません。

[1] 作業概要

(1)ヘッダ情報入力

まずは仕入先を入力します（任意）。入力された仕入先が台帳に存在しなければエラーとなります。

(2)明細情報入力

品目・ロット1・ロット2・ロケーション・数量を繰り返し入力し、最後に登録します。

ロット1、ロット2、ロケーションは任意入力です。

品目とロケーションは台帳に存在していなければエラーとなります。

[2] 入力画面

○ヘッダ入力

<入荷実績>	
仕: C1234	
ABC商事	
M1: 戻る	ENT: 決定

入力項目		
仕入先コード		
表示項目		
仕入先名		

○明細入力

<入荷実績> 001	
品: 4912345678904	
C0831491	
ハードディスク〇〇	
L1: L983	
L2: L983x	
ロケ: A-01	
数: 20	
M1: 戻る	

入力項目		
品目	必須	2-7 品目の入力 参照
L1		システム設定により非表示も可能
L2		
ロケーション		
数量	必須	
表示項目		
品目コードまたは Key コード		2-7 品目の入力 参照
品目名		

3-2 入荷検品

予め用意された入荷予定伝票に沿って入荷作業を行います。この処理で在庫が増えます。

[1] 作業概要

(1)対象伝票の指定

以下の2通りの方法で指定が出来ます。(詳しくは2-1-3 入荷検品・出荷検品(仮引当)の操作参照)

- 入荷予定明細書のバーコードを読み取る
- 発注書など、上位システムで発行される帳票の番号=「元伝票番号」を入力する

(2)明細情報入力

画面に表示される指示に沿って、品目・ロット1・ロット2・ロケーション・数量を入力します。

入力を指示されている項目は色が変わります

入力するとリアルタイムに入荷が確定します。

作業途中の状況もリアルタイムに登録されている為、残り作業を改めて行うことができます。

ロケーション、ロット1、ロット2は任意入力です。

指示と異なる入力があるとエラーとなります。

[2] 入力画面

○ヘッダ入力

<入荷検品> 対象 > :入荷予定 No. - F1:対象切替 M1:戻る

入力項目		
入荷予定 No. または 元伝票番号		2-13 入荷検品・出荷検品（仮引当）の操作 参照
表示項目		
入荷予定 No. または 元伝票番号		2-13 入荷検品・出荷検品（仮引当）の操作 参照
仕入先		
摘要		

<入荷検品> 指示 No. :000000001234 元伝票番号: 仕入先:田中コーポレーション株式会社 摘要(F2:詳細): ワレモノ注意! M1:戻る ENT:決定
--

○明細入力

<入荷検品> 000/003 品:_ (Key コード) L1: L2: 叩: 数: 計: 予: M1:戻る F1:入力切替

入力項目		
品目	必須	2 - 7 品目の入力 参照 *1
L1		システム設定により非表示も可能 *1
L2		
叩-シヨ		
数量	必須	*1
表示項目		
品目		2 - 7 品目の入力 参照
品目コードまたは Key コード		2 - 7 品目の入力 参照
品目名		
L1		
L2		
叩-シヨ		
引当数		

*1・・・ENT キーで指示内容の代用入力が可能です。

3-3 入荷返品

品目の入荷返品情報を登録します。この処理で在庫が減ります。在庫状態も指定します。

[1] 作業概要

(1)ヘッダ情報入力

まずは仕入先を入力します（任意）。入力された仕入先が台帳に存在しなければエラーとなります。

(2)明細情報入力

品目・ロット1・ロット2・ロケーション・在庫状態・数量を繰り返し入力し、最後に登録します。

ロット1、ロット2、ロケーションは任意入力です。

品目とロケーションは台帳に存在していなければエラーとなります。

[2] 入力画面

○ヘッダ入力

<入荷返品>	
仕: C1234	
ABC商事	
M1: 戻る	ENT: 決定

入力項目		
仕入先コード		
表示項目		
仕入先名		

○明細入力

<入荷返品>		001
品: 4912345678904		
C0831491		
ハードディスク〇〇		
L1: L983		
L2: L983x		
ロケ: A-01		
状: 通常品		
数: 20		
M1: 戻る		

入力項目		
品目	必須	2-7 品目の入力 参照
L1		システム設定により非表示も可能
L2		
ロケーション		
在庫状態	必須	
数量	必須	
表示項目		
品目コードまたはKeyコード		2-7 品目の入力 参照
品目名		

第4章 出荷

4-1 出荷実績

出荷する品目を登録します。この処理で在庫が引落されます。

[1] 作業概要

(1)ヘッダ情報入力

まずは出荷先を入力します（任意）。入力された出荷先が台帳に存在しなければエラーとなります。

(2)明細情報入力

品目・ロット1・ロット2・ロケーション・数量を繰り返し入力し、最後に登録します。

ロット1、ロット2、ロケーションは任意入力です。

品目とロケーションは台帳に存在していなければエラーとなります。

[2] 入力画面

○ヘッダ入力

<出荷実績> 仕:S0001 X Y Z株式会社 M1:戻る ENT:決定

入力項目		
出荷先コード		モバイルオプションでは直送先入力は未対応です。
表示項目		
出荷先名		

○明細入力

<出荷実績> 001 品:4912345678904 C0831491 ハードディスク〇〇 L1:L983 L2:L983x 町:A-01 数:20 M1:戻る

入力項目		
品目	必須	2-7 品目の入力 参照
L1		システム設定により非表示も可能
L2		
ロケーション		
数量	必須	
表示項目		
品目コードまたはKeyコード		2-7 品目の入力 参照
品目名		

4-2 出荷検品（仮引当）

予め用意された出荷指示伝票に沿って入荷作業を行います。この処理で在庫が増えます。

[1] 作業概要

(1)対象伝票の指定

以下の2通りの方法で指定が出来ます。（詳しくは2-1-3 入荷検品・出荷検品（仮引当）の操作参照）

- 出荷指示明細書のバーコードを読み取る
- 受注や売上など、上位システムで発行される帳票の番号＝「元伝票番号」を入力する

(2)明細情報入力

画面に表示される指示に沿って、品目・ロット1・ロット2・ロケーション・数量を入力します。

入力を指示されている項目は色が変わります

入力するとリアルタイムに出荷が確定します。

作業途中の状況もリアルタイムに登録されている為、残り作業を改めて行うことができます。

ロケーション、ロット1、ロット2は任意入力です。

指示と異なる入力があるとエラーとなります。

[2] 入力画面

○ヘッダ入力

<出荷検品> 対象 > : 出荷指示 No. - F1: 対象切替 M1: 戻る
--

入力項目		
出荷指示 No. または 元伝票番号		2 - 1 3 入荷検品・出荷検品（仮引当）の操作 参照
表示項目		
出荷指示 No. または 元伝票番号		2 - 1 3 入荷検品・出荷検品（仮引当）の操作 参照
仕入先		
摘要		

<出荷検品> 指示 No. : 000000001234 元伝票番号: 出荷先: 田中コーポレーション株式会社 摘要 (F2: 詳細): ワレモノ 注意! M1: 戻る ENT: 決定

第4章 出荷

○明細入力

<出荷検品> 000/003 品:_ (Key コード) L1: L2: 叩: 数: 計: 予: M1:戻る F1:入力切替

入力項目		
品目	必須	2 - 7 品目の入力 参照 *1
L1		システム設定により非表示も可能 *1
L2		
叩-シヨ		
数量	必須	*1
表示項目		
品目		2 - 7 品目の入力 参照
品目コードまたは Key コード		2 - 7 品目の入力 参照
品目名		
L1		
L2		
叩-シヨ		
引当数		

*1・・・ENT キーで指示内容の代用入力が可能です。

4-3 出荷検品（本引当）

予め用意された出荷引当伝票に沿って出荷作業を行います。この処理で在庫が引落されます。

[1] 作業概要

(1)対象伝票の指定

以下の3通りの方法で指定が出来ます。（詳しくは2-14 出荷検品（本引当）の操作 参照）

- ピッキングリストのバーコードを読み取る
- 納品書や払出指示書など、上位システムで発行される帳票の番号＝「元伝票番号」を入力する
- 何も入力せずENTキー押下で作業されていない出荷引当伝票を呼び出し、伝票番号や出荷先・直送先を確認し決定

(2)明細情報入力

画面に表示される指示に沿って、ロケーション・品目・ロット1・ロット2・数量を入力します。

入力を指示されている項目は色が変わります

全ての指示に対して作業が済むと出荷が確定します。

作業途中の状況もリアルタイムに登録されている為、残り作業を改めて行うことができます。

ロケーション、ロット1、ロット2は任意入力です。

指示と異なる入力があるとエラーとなります。

[2] 入力画面

○ヘッダ入力

<出荷検品> 対象 > :引当番号 ピッキング:_ F1:対象切替 M1:戻る

入力項目		
ピッキングリスト または 元伝票番号		2-14 出荷検品（本引当）の操作 参照
表示項目		
ピッキングリスト または 元伝票番号		2-14 出荷検品（本引当）の操作 参照
出荷先		
直送先		
摘要		

<出荷検品> ピッキング:0000000001234 元伝票番号: 出荷先:田中コーポレーション株式会社 直送先: 摘要(F2:詳細): ワレモノ注意! M1:戻る

4-4 出荷返品

一旦出荷された品目の返品を登録します。この処理で在庫が増えます。

[1] 作業概要

(1)ヘッダ情報入力

まずは出荷先を入力します（任意）。入力された出荷先が台帳に存在しなければエラーとなります。

(2)明細情報入力

品目・ロット1・ロット2・ロケーション・在庫状態・数量を繰り返し入力し、最後に登録します。

ロット1、ロット2、ロケーションは任意入力です。

品目とロケーションは台帳に存在していなければエラーとなります。

[2] 入力画面

○ヘッダ入力

<出荷返品> 仕:S0001 XYZ株式会社 M1:戻る ENT:決定

入力項目		
出荷先コード		モバイルオプションでは直送先入力は未対応です。
表示項目		
出荷先名		

○明細入力

<出荷返品> 001 品:4912345678904 C0831491 ハードディスク〇〇 L1:L983 L2:L983x 町:A-01 状:通常品 数:20 M1:戻る
--

入力項目		
品目	必須	2-7 品目の入力 参照
L1		システム設定により非表示も可能
L2		
ロケーション		
在庫状態	必須	
数量	必須	
表示項目		
品目コードまたはKeyコード		2-7 品目の入力 参照
品目名		

第5章 振替

5-1 移動

在庫の移動を登録します。この処理で在庫のロケーションが変更されます。
ロケーションが使用項目になっていない場合は本機能は利用できません。

[1] 作業概要

(1)明細情報入力

品目・ロット1・ロット2・状態・移動元ロケーション・移動先ロケーション・数量を繰り返し入力し、最後に登録します。

ロット1、ロット2、ロケーションは任意入力です。

品目とロケーションは台帳に存在していなければエラーとなります。

[2] 入力画面

○明細入力

<移動>	001
品:4912345678904	
C0831491	
ハードディスク〇〇	
L1:L983	
L2:L983x	
状:通常品	
ロケ:A-01	
→:B-02	
数:20	
M1:戻る	

入力項目		
品目	必須	2-7 品目の入力 参照
L1		システム設定により非表示も可能
L2		
在庫状態	必須	
移動元ロケーション		
移動先ロケーション		
数量	必須	
表示項目		
品目コードまたはKeyコード		2-7 品目の入力 参照
品目名		

第6章 棚卸

6-1 棚卸

棚卸する品目を登録します。この処理でモバイル棚卸数を更新できます。

[1] 作業概要

(1)明細情報入力

ロケーション・バーコード・ロット1・ロット2・状態・数量を繰り返し入力し、最後に登録します。

ロケーション・ロット1・ロット2は任意入力です。

[2] 入力画面

<棚卸>	000
ロケ:	_
品:	
L1:	
L2:	
状:	
数:	
M1:	戻る

<棚卸>	001
ロケ:	A-01
品:	4912345678904
	ハードディスク〇〇
L1:	L983
L2:	L983x
状:	通常品
数:	=
	論理数 44
	HT 実棚 -
M1:	戻る

入力項目		
ロケーション		最初に入力すると、次回から前回と同じ内容で自動入力。 変更する際は、品目入力待ち状態で「M1:戻る」で戻ります。 システム設定により非表示も可能
品目	必須	2-7 品目の入力 参照
L1		システム設定により非表示も可能
L2		
状態	必須	初期値「通常品」で自動入力。 変更する際は、数量入力待ち状態で「M1:戻る」で戻ります。
数量	必須	既に登録されていると、上書/追加の選択画面が表示されます。
表示項目		
品目コードまたは Key コード		2-7 品目の入力 参照 ロット1、2 (L1、L2) が表示での運用において、数量入力の際は非表示
品目名		
論理数		数量入力時のみ
HT 実棚		数量入力時のみ

<上書/追加 選択画面イメージ>

<棚卸>	001
ロケ:	A-01
品:	4912345678904
	ハードディスク〇〇
L1:	L983
L2:	L983x
状:	通常品
数:	33
	論理数 44
	HT 実棚 11
M1:	上書
M2:	加算

第7章 在庫参照

7-1 在庫参照

在庫を Key コードや品目コード、品目名の一部一致で行います。

[1] 作業概要

(1)品目情報の入力

在庫を確認したい品目情報を入力します。

(2)在庫情報の表示

在庫情報を表示します。複数存在する場合は画面を切り替えて確認します。

[2] 入力画面

<在庫参照>
品:_

F1:入力切替
M1:戻る

<在庫参照> 001/003
品:4912345678904
ハードディスク〇〇

L1:L983
L2:L983x
状:通常品
数:1

M1:戻る ▼

入力項目		
品目	必須	2-7 品目の入力 参照
表示項目		
品目コードまたは Key コード		2-7 品目の入力 参照
品目名		
L1		システム設定により非表示も可能
L2		
状態		
数量		

第8章 付録

8 - 1 警告

[1] 警告画面表示

本アプリケーションで警告が発生した時は、警告メッセージが表示されます。
M1 キーを押すと前の画面に戻ります。

<出荷実績> 001 品:4912345678904 C0831491 ハードディスク〇〇 L1:L983 L2:L983x 町:A-01 数:20 在庫マイナス! M1:戻る

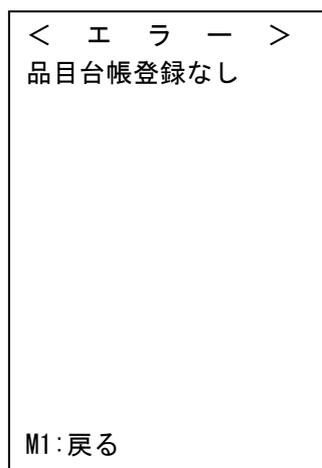
[2] 警告一覧

警告メッセージ	内容	対象
在庫マイナス!	入力結果により、PC 在庫数にマイナスが発生。	出荷実績
明細最大件数です	明細登録数が 999 に到達。	入荷実績 出荷実績 棚卸

8-2 エラー

[1] エラー画面表示

本アプリケーションでエラーが発生した時は、エラー告知画面が表示されます。
M1 キーを押すと前の画面に戻ります。



注意！

一部、通常画面にエラーメッセージが表示されるものもあります。

[2] エラー一覧 (共通)

エラーメッセージ	内容	対象
ログインできません	入力されたグループ ID、ユーザー・パスワードでログインできない	ログイン画面
セッションタイムアウトしました	無操作状態で 30 分経過した後に操作を行った	共通
多重ログイン発生	同じユーザーが別の端末でログインした	共通
バーコードの桁数が長すぎます	バーコードで読み込んだデータが、入力項目の最大長さを超えている	共通
GS1-128 形式を読み取りました	品目入力待ち以外で GS1-128 を読み込んだ	共通
現品票発行された QR コード形式を読み取りました	品目入力待ち以外で現品票 QR コードを読み込んだ	共通
ロット 1 のデータを読み取りました	システム設定でロット 1 が非表示時に、ロット 1 を含むバーコード/QRコードを読み込んだ	共通
ロット 2 のデータを読み取りました	システム設定でロット 2 が非表示時に、ロット 2 を含むバーコード/QRコードを読み込んだ	共通
品目台帳登録なし	Key コード(品目コード)入力時、品目台帳に登録なし	共通
ロケーション台帳登録なし	ロケーションコード入力時、ロケーション台帳登録なし	共通
仕入先台帳登録なし	仕入先コード入力時、仕入先台帳登録なし	共通
出荷先台帳登録なし	出荷先コード入力時、出荷先台帳登録なし	共通
棚卸が開始されていません	ログイン倉庫で棚卸開始されていない	棚卸
棚卸対象外です	一部棚卸を実施している際、対象外の棚卸データを入力した	棚卸
在庫はありません	指定品目の在庫がなかった	在庫参照

[3] エラー一覧 (Pro のみ)

エラーメッセージ	内容	対象
ピッキングリストなし	ピッキングリストが1つも存在しない	出荷検品 (空 ENT での対象伝票呼出時)
指定されたピッキングリストが見つかりません	入力された伝票番号のピッキングリスト(引当伝票番号)が存在しない。 ※完了の場合も本エラーが発生	出荷検品 (ピッキングリストまたは元伝票番号での対象伝票指定時)
指定されたピッキングリストが複数存在します	入力された伝票番号のピッキングリストが複数存在する	出荷検品 (元伝票番号での対象伝票指定時)
指定されたロケーションと異なります	入力されたロケーションが指示内容と異なる	出荷検品
予定にない品目です	入力された品目が指示内容と異なる	出荷検品
指定されたロット1と異なります	入力されたロット1が指示内容と異なる	出荷検品
指定されたロット2と異なります	入力されたロット2が指示内容と異なる	出荷検品
数量が予定数に対して不足しています	入力された数量が指示内容より小さい	出荷検品
数量が予定数を超過しています	入力された数量が指示内容より大きい	出荷検品
指示(引当)伝票が存在しません	検品中に PC の処理で該当の指示/引当伝票が削除された	出荷検品
指示(引当)伝票がすでに検品完了済みです	検品中に PC/別のモバイル機器の処理で該当の伝票が検品済になった	出荷検品
指示(引当)伝票の該当明細が処理済みです	検品中に別のモバイル機器の処理で対象となる明細が処理済みになった	出荷検品
検品結果登録に失敗しました	何らかの理由で検品結果登録処理を失敗	出荷検品

8 - 3 @Hyway エラー

モバイルオプションはミドルウェア環境@Hyway で動作しています。
 通信エラーなどは@Hyway から通知されます。
 ここでは@Hyway ブラウザーアプリからのエラーについて説明します。

[1] 無線送信エラーとその対応

サーバーに対する送信エラーが発生した際に表示されます。



<常に本エラーが発生する場合>

システム管理者の方は、以下の順番で確認して下さい。

No	確認方法	対応
1	無線 HT (DENSO WAVE 製) では、SF+1+電源キーで起動し直すと、「SYSTEM MENU」が表示されます。SYSTEM MENU の「LINK STATUS」機能で接続テストを実施して下さい。	モバイル機器の接続設定が不十分です。利用される無線環境に合わせて ・SSID 設定 ・セキュリティモード ・パスワード
2	本オプションサーバーへ PING を行い、インターネットに接続出来ていることを確認して下さい。HT (DENSO WAVE 製) では、SYSTEM MENU 内で PING を実施します。	・IP 設定 などを設定後、改めて確認して下さい。 ※設定方法は各ハンディターミナルのマニュアルをご覧ください。
3	@Hyway ブラウザー設定を確認して下さい。	@Hyway からの無線送信エラー画面において、ブラウザー設定画面を呼び出します。通信設定において、事前に通知している以下の内容が正しく設定されているか確認して下さい。 ・ServerIP

		<ul style="list-style-type: none"> ・通信ポート番号 ・HT Group
4	モバイル機器と本オプションサーバー間での使用ポートによる通信がファイアウォール等により禁止されていないか確認して下さい。	禁止されている場合は、使用するポートを解放して下さい。

<動作中に本エラーが発生する場合>

電波が届いていることを確認し、ENT キー押下でリトライします。

[2] その他のエラーと対応

その他、以下のようなエラーメッセージが用意されています。

エラーメッセージ	対応
WEB サーバーエラー	常に発生する場合は、システム管理者へご連絡下さい。
WEB サーバータイムアウト	
無線受信タイムアウト	ほとんどはエラー画面の ENT キー押下での通信リトライにて復帰できます。
無線受信エラー	@Hyway ブラウザーのバージョン No を確認の上、システム管理者までご連絡下さい。
その他のエラーメッセージ	システム管理者へご連絡下さい。

[3] @Hyway 設定画面とバージョン確認

無線 HT における、@Hyway の設定画面と@Hyway ブラウザーのバージョン確認画面の呼び出し方法は以下の通りです。

<@Hyway 設定画面>

システム管理者権限でログイン後、メインメニュー画面で「0」キー押下。

<@Hyway ブラウザーバージョン確認画面>

システム管理者権限でログイン後、メインメニュー画面で「・」キー押下。

なお iPhone では、システム管理者権限でログイン時に、メインメニュー画面下に「設定」ボタン、「Version」ボタンが表示されます。

株式会社 インフュージョン

〒222-0033 神奈川県横浜市港北区新横浜 2-3-8 KDX 新横浜ビル

Tel 045-472-0938

在庫スイートクラウド モバイルオプション マニュアル

2021年06月16日 第2.0版